

3月定例会

P2~3 令和6年度予算を可決

P4 補正予算可決

P5 条例改正・議員発議

P6~7 常任委員会調査報告・陳情

P8~14 一般質問 7人の議員 村政を **問う**

P15 追跡 海浜エリアの活性化

P16~17 村民インタビュー
中学生サークル
スパークルバルブスのみなさん

はじめて教室に入った、わくわく
日吉津小の新一年生



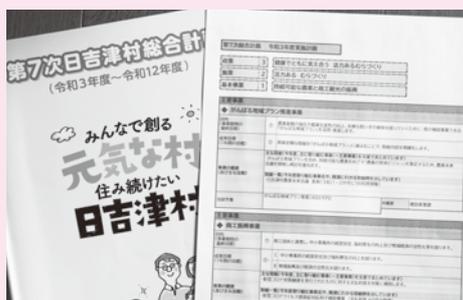


るく支える施策を 7,150万円、特別会計予算も可決

総合計画の見直し、アンケート調査

令和3年度スタートの「第7次総合計画（10年間）」の折り返しを迎えるため、後半の施策を策定するための「村民アンケート」や「村民との対話の機会」を設けるために

311万円



**3月
定例会**

農業の振興・「がんばる地域プラン」



農業の後継者不足や遊休農地の増加に対し、30年後の目指す姿を実現するために「農業将来ビジョン」があります。その柱となる「がんばる地域プラン」に取り組むために

609万円

特別医療「18歳まで医療費無料に」

県の制度に基づく、「18歳以下の医療費無償化」や「重度障がい者の医療費助成」。子育て世帯や障がい者の安心と負担軽減のために

3,347万円



低所得世帯への物価高対策



物価高で厳しい状況の低所得世帯（住民税非課税及び均等割のみ課税世帯）に、1世帯あたり10万円、18歳以下の子どもに5万円加算して支給するために

1,022万円

令 和6年第1回定例会を、3月1日から22日まで開催しました。
議案は、令和6年度当初予算4件、補正予算5件、条例の一部改正・廃止5件、その他の議案8件、陳情1件など、23件について慎重審議の結果、22件を可決しました。

村民の暮らしを明

村の一般会計予算は27億

新年度
予算

《令和6年度当初予算》

- ◎一般会計
27億7,150万円
- ◎国民健康保険事業
特別会計
3億9,924万円
- ◎後期高齢者医療
特別会計
6,317万円
- ◎下水道事業会計
収益的支出
1億5,635万円
資本的支出
5,541万円

ねんりんピックの開催



鳥取県各地で開催される全国健康福祉祭「ねんりんピック」。本村でも10月、海浜運動公園でターゲット・バードゴルフ大会が開催され、県内外から多数の参加者が来村予定

884万円

下水道使用料減免率は引き下げ

15年前のリーマンショックに対する家計支援のため行ってきた減免を、年次的に引き上げてきた。前年度までの6%減免率が、今年は2%になる。



減免率 2%に

発議第1号 一般会計予算に対する修正動議（反対多数のため、否決）

- 提案理由（前田 昇議員）：海浜運動公園の官民連携手法の事前の検討のためのコンサルタント料1,650万円は、あまりに多額。村民の声を聴き、内容を精査すべき。
- 反対討論（松田 悦郎議員）：事業が立ち止まったら、これまで費やした時間が無駄になる。予算委員会で賛成多数となったこともふまえて、修正動議に反対する。

◆採決 **賛成 1**（前田）／**反対 8**（齊田・加藤・江田・長谷川・石原・河中・橋井・松田）

予算審査における付帯意見

〔総務課〕

①海浜運動公園の芝生広場・多目的広場は有料施設となっているが、予約使用以外は無料で使用できるので、村民に誤解を与えないよう、看板を新設されたい。

②予算書及び説明書については、村ホームページにも掲載されたい。

〔総合政策課〕

①海浜運動公園の官民連携手法による事前検討委託料が高額である。具体的な内容も分かりにくく、見直しを含め十分検討されたい。

〔福祉保健課〕

①带状疱疹のワクチン接種の有効性を周知するとともに、一部助成制度を検討されたい。

〔住民課〕

①男女共同参画の推進を早急に取り組まれたい。

②環境施策については「環境の日」実行委員会や環境審議会などと連携しながら、積極的に取り組まれたい。

〔教育委員会〕

①中学生の人材育成交流事業・オーストラリア語学研修は、8名740万円と高額である。自費部分や選抜など不公平感もある。中止を含め見直しをされたい。

②小学校校庭の芝生管理は、芝生化推進隊と教育委員会とでパートナーシップ協定を締結し、協働のモデルとされたい。

補正予算 可決

西部広域のごみ処理施設整備のために 基金積立 1,500万円増額

補正予算額 (令和5年度)

- 一般会計(第7回) ▲6,938万円
(第8回) 221万円
 - 国民健康保険事業勘定特別会計(第3回) ... 1,672万円
 - 後期高齢者医療特別会計(第3回) 91万円
 - 下水道事業会計特別会計(第3回)
- 収益的支出 1,011万円 資本的支出 1,000円

〔主な補正予算〕

一般会計(第7回)

《一般廃棄物処理施設整備費積立基金》
1,500万円

西部広域で令和14年度に供用開始を予定している施設のための積立基金の増額。

最終的な負担金、毎年の積立

金はいくらか?

日吉津村の負担総額は1億4

161万円、今後年間2000〜2500万円程度の積立金となる見込み。

《小学校大規模改造LE D化工事》

▲326万円

詳細の説明を。

予算額3300万円に対し、実績2970万円となった。

《少人数学級の加配教員全額協力金》

▲500万円

詳細の説明を。

国や県の基準の学級数は児童生徒の人数で増減する。村で独自の加配教員を配置していたが児童の転入により、国や県の学級数の基準に達したため、減額となった。

《自立相談・家計改善支援事業委託料》

▲372万円

国の補助を受けて社協に委託

しているが、内容と相談件数、経過内容は。

当初、職員をフルタイムの予定がパートタイムとなった。継続的に関わる世帯が1件ある。相談が増えている状況である。

《特別医療費助成事業》

180万円

増額になったのは医療費対象者数が増えたのか。

秋以降のコロナ・インフルの感染症に対する医療費の増加である。

国民健康保険事業勘定特別会計(第3回)

《特定検診等データ管理システム手数料》

▲279万円

主に受診勧奨のデータ管理システム手数料で、県と村が同じ業者と委託契約を結ぶ事業。特別交付金で予算化したのが県が直接業者に委託料を支払うこととなった。

《夢はぐくむ村づくり基金繰入金》

▲56万円

減額となった内容を。

ミライトひえづの絵本、教育関係事業、農業関係、ヴィンステひえづの図書館の費用、結婚支援事業など当初予定していた事業についての減額。

一般会計(第8回)

《県営農村地域防災減災事業他市町村負担金》
221万円

海川排水路工事の負担金額が3月に確定し、計上する。

工事全体の増加、県との負担割合の増加なのか。追加工事による事業費増加にともない負担金が増額となった。

追加工事による事業費増加にともない負担金が増額となった。



完成した海川排水路

〔条例の改正等〕

《日吉津村情報公開条例等の一部改正》

情報公開並びに個人情報情報の審査会を鳥取県に委託することとなるもの。

《日吉津村防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部改正》

日吉津村防災行政無線機能強化工事により、防災行政無線施設が更新されることとなるもの。(機器の名称及び設置場所の変更・屋外拡声局の設置場所の変更)

《日吉津村長の給与及び旅費に関する条例の一部改正》

西部地区特別職報酬等審議会からの答申に基づき、村長の給与の改定を行うもの。

《日吉津村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正》

西部地区特別職報酬等審議会からの答申に基づき、教育長の給与の改定を行うもの。

《日吉津村長の給与の特例に関する条例の廃止》

平成16年から村長の給料を10%カットしていたが、社会情勢の状況により終了する。

〔議員発議〕

第2号

《日吉津村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正》

西部地区特別職報酬等審議会の答申に基づき、村議員の報酬の改定を行うもの。

●賛否の分かれた議案 (賛成：○ 反対：×)

議案番号	件名	議決結果	齊田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河井	橋井	松田	山路
議案第3号	西部町村情報公開・個人情報保護審査会共同設置の廃止に関する協議について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第9号	令和5年度日吉津村一般会計補正予算(第7回)	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	日吉津村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	退席	○	—

※議長は賛否表明しない

●全会一致で議決された議案

議案番号	件名	議決結果
議案第2号	移動脱水車購入変更契約について	可決
議案第4号	日吉津村情報公開条例等の一部を改正する条例	可決
議案第5号	日吉津村防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第6号	日吉津村長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第7号	日吉津村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第8号	日吉津村長の給与の特例に関する条例の廃止	可決
議案第10号	令和5年度日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3回)	可決
議案第11号	令和5年度日吉津村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	可決
議案第12号	令和5年度日吉津村下水道事業会計補正予算(第3回)	可決
議案第17号	日吉津村防災行政無線機能強化工事変更請負契約について	可決
議案第18号	日吉津村と鳥取県の間における個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	可決
議案第19号	日吉津村と鳥取県の間における情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	可決
議案第20号	令和5年度日吉津村一般会計補正予算(第8回)	可決
議案第21号	ひえづこども園保育室等整備工事請負契約について	可決

都市計画や 小学校教育の現状を調査

閉会中の継続調査を行いました

総務経済常任委員長報告

- **調査概要** 村内の都市計画マスタープランと人口増にともなう公共下水道整備計画の現状と課題について調査した。
- **考察** 国道431号北側の開発により、村道など周辺の交通事情が一変する。交通量も激増し、事故の発生が多くなると予想されるので、安全のために道路計画が必要である。
令和10年度完成に向けて日野川右岸道路（仮称）は、村道3号から5号線橋梁などのアクセス整備を進めるべきである。また、将来的にはJR伯耆大山駅北口の活用を強く望みたい。
本村の下水道は100%近い普及率であるが、施工後30数年が経過しており、延命化に留意されたい。

- **調査目的** 村内のインフラ（道路、下水道）整備計画について
- **調査期日** 令和6年2月26日



▲431号北側エリアの造成工事

- **調査目的** GIGAスクールについて
- **調査期日** 令和6年1月16日



▲1年生の授業風景

教育民生常任委員長報告

- **調査概要** 全国で2021年度からスタートしたGIGAスクール構想について調査した。
1年生の「アイパッドで絵を書いてみよう」という授業で、画用紙の代わりにアイパッドを使って絵を描き、みんなで鑑賞しながら、感想を簡単に文章にするものであった。
- **考察** 今後も技術革新が進むと思われる。小学校でICT技術をマスターすることは必要と感じた。
今後は、実践事例の蓄積をすすめながら、端末の活用により一人ひとりの学力の定着を進めていただきたい。

陳情
第1号

食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書

【陳情者】鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之

総務経済常任委員会

採択

討論

【賛成討論】江田加代 議員

農産物の輸入自由化が強行されて以降、日本の食糧の6割以上を外国に依存している。食糧の自給率を上げることは、国民の生命に関わることであり、国の政策とすることを求めるべきである。

【賛成5名】

斉田、河中山原、橋井江田

【反対4名】

加藤、松田前田、長谷川

採択

広報広聴常任委員長報告

●勝浦町 研修内容

- ・ 議会広報は年3回発行し、レイアウトとタイトルはアドバイザーに委託している。
- ・ 議会広報モニターを設置し、町民から意見をいただいている。
- ・ 平成25年から通年議会を採用している。補正予算など速やかに決定でき、議会・執行部ともに利点がある。

●考 察

- ・ 広報には町民に取材した記事を多く掲載されており、議会報に対する強い姿勢が感じられた。

●調査目的 議会だよりの研修

●調査期日 令和6年2月13日～14日

●研 修 先 (徳島県) 勝浦町・那賀町

●那賀町 研修内容

- ・ 独自の議会報の発行は取りやめ、町報に概要と一般質問を掲載している。
- ・ 一般質問でのタブレット利用、議員による条例・施策提案、オンラインによる委員会出席など実施し、通年議会を採用している。

●考 察

- ・ 議会の改革にあらゆる手を尽くし実践されている。日吉津村も可能な取り組みについて検証し、見習っていくべきと感じた。



▲議会広報で全国表彰の勝浦町



▲タブレットでわかりやすい質疑を

一般質問

村
政
を問
う

7人の議員が
質問しました。



3月4日(月)

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	9	1. ねんりんピックを成功へ 2. 海浜エリアの指定管理者導入は
前田 昇	10	1. 自治基本条例に基づく村民参画を 2. ヴィレステひえづの管理運営の見直しを 3. 海浜運動公園の活用について
石原 浩明	11	1. 誰もが住みよい日吉津村に
斉田 光門	12	1. 建設工事に対する見直しを 2. 村民個々の防災対策を
江田 加代	13	1. 学校給食費を無償に 2. 生活保護制度を広く知らせよ 3. マイナ保険証でどうなるか
橋井 満義	14	1. 旧うなばら荘の最終結末は 2. 村誌に代わる「ふるさと読本」は 3. 王子製紙への支援を示せ

*加藤修議員も一般質問を行いました。本人の意向により、議会ひえづへの掲載はしませんでした。



松田悦郎 議員

ねんりんピックを成功へ

村長 おもてなしの心でお迎えしたい



▲ターゲット・バードゴルフのPR

Q

第36回全国健康福祉祭「ねんりんピック」が鳥取県で初めて開催される。

日吉津村では10月20日、21日に行われるがこの大会の成功に向けての意気込みをうかがう。

A

村長

日吉津村では海浜運動公園を会場にターゲット・バードゴ

ルフの交流大会が開催され、36チーム144名の選手が全国から来村される予定である。愛媛県から大会旗を引き継ぎ、「はばたけ2024」のスローガンで開催される。会場周辺の装飾など村民の皆さんのご協力をいただきながら盛り上げ、あわせて大会運営のボランティアをお

願いたい。

来村された皆さまに気持ち良くプレーを楽しんでいただけるよう準備をすすめ、おもてなしの心でお迎えしたい。

海浜エリアの

指定管理者導入は

村長 事業者の参入意向が確認できた

Q

海浜エリア

活性化計画では、キャンプ場やテニスコート、ゲートボール場の活用策、多目的広場や芝生広場の管理、松林、東屋、記念碑の検討、遊歩道の整備、サイクリングコースの整備、駐車場など検討事項が多く、難しい問題が山積している状況である。

早急にサウンディング調査を行い、指定管理者導入を図りたい。



▲事業者選定を進めて新しい海浜公園を

A

村長

現在、官民連携手法の可能性を把握するサウンディング調査を行っている。これまで6社の民間

一方で、これまで行った調査をふまえ、新年度には海浜運動公園整備にかかる基本計画や実施方針を進めていきたい。

企業と進出意向などを確認できた。

この後、パークPFI導入の検討などを進めたい。



前田 昇 議員

自治基本条例に基づく村民参画を

村長 村民への普及啓発に努める

Q 自治基本条例の施行から15年。条例の見直しと、その運用状況の点検作業を行っている。

A 村長

村民への啓発に努め、改善すべき点があれば、検討していきたい。

Q 第28条の村民参画の観点をふまえ、ミライトの増築について子育て会議等への説明は行ったか。

A 福祉保健課長

2月に開催した。園庭の縮小や遊具の移動、保育士の配置などにご意見をいただき、対応を検討した。

Q ふるさと納税の用途について、村民のチェックを受け、意見を十分に聞くべきだ。

A 村長

村民へはホームページなどで報告に努めている。

Q ヴィステテひえつこの管理運営の見直しを
村長 教育委員会との連携強化を検討する

Q ヴィステテが開館して9年、生涯学習の推進のためにも、総務課ではなく教育委員会が所管すべきだ。

A 村長

Q コミュニティ活動や社会教育、図書館、そして健康増進などの複合施設であり、教育委員会や福祉保健課の連携も必要。職員体制などをふまえて検討する。

A 村長

一階の健康相談室は、一般への貸出しをしてこなかったが、公共施設の有効利用や村民の生涯学習の拡大のために、夜間も含めて使用を可能とすべきだ。

Q 一階の健康相談室は、一般への貸出しをしてこなかったが、公共施設の有効利用や村民の生涯学習の拡大のために、夜間も含めて使用を可能とすべきだ。

A 村長

複合施設のメリットを活かして、一層、村民にとって利用しやすい施設となるよう、検討していきたい。

う、検討していきたい。

Q 海浜運動公園の活用について
村長 民間事業者のノウハウを活かしたい

Q パークPFIなどが検討されているが、これは、主に大都市の公園でレストランなどを行いたい民間事業者に公園の管理を任せる手法で、本村にはマッチしないのでは。事前検討のため多額のコンサル料に

A 村長



▲村民の声をいかして公園の活性化を

についても大いに疑問だ。

A 村長

前年の調査のなかで、民間導入の可能性を感じる。今年から具体的に検討したい。

Q まずは、コロナ後の村民の利用拡大を図りつつ、公園の見直しも村民とともに行うべきだ。

A 村長



▲保育室増設について村民へ説明を



石原浩明 議員

誰もが住みよい 日吉津村に

村長 必要かつ合理的な配慮を行う



▲ユニバーサルデザインの一例
段差のないミライトの玄関ホール

Q

2024年4
月に改正障害者
差別解消法が施行され
る。

①村としてどのような
ことを行うのか。また、
村の施設の環境整備の
状況と、役場ではどの
ような「合理的配慮」
を提供しているか
②村の障がい者雇用率
は何パーセントか。
③こども園の加配など、
障がいのある園児の受
け入れ体制は。

A

村長

①バリアフ
リー法などに基づき、
ユニバーサルデザイン
化している。ヴェイ
ステやミライトなど
で、段差の解消、点字
ブロックの整備、バリ
アフリートイレやエレ
ベーターの設置をして
いる。
既存の施設では、ス
ロープや高さの低い窓
口カウンターの設置、
役場1階のトイレをバ
リアフリーに改修して

いる。

「社会的障壁」の
残っている部分につい
ては、職員が「合理的
配慮」を提供すること
により除去に努めてい
る。具体的には施設内
の移動支援、筆談によ
るコミュニケーション
などである。それに合
わせて筆談セミナーや、
あいサポート研修を受
講している。

今後ともあらゆる人が
利用しやすいよう施設
の改修やサービスの提
供に努めるとともに、
職員のスキルアップを
図っていききたい。
②地方公共団体の法定
雇用率の2・6%を満
たしている。職員の定
着を図るため、定期的
に就労支援員を交えて
面談等を実施している。
③保育サービス多様化
事業として、保育士、
看護師、保健師、その
他専門的知識を持つ者
の判断に基づき、診断

Q

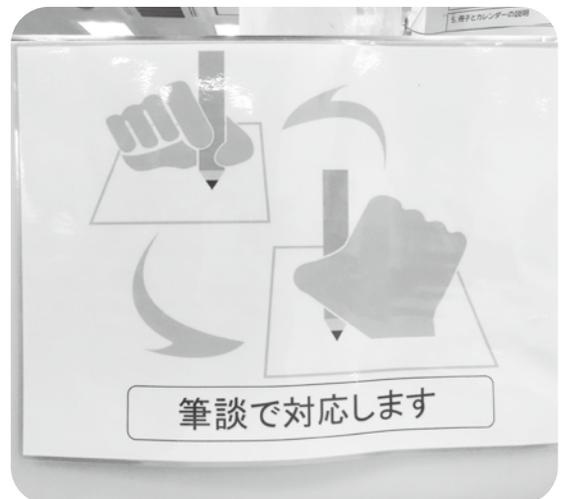
小学校のイン
クルーシブ教育
の取り組みは。

A

教育長

インクルーシ
ブ教育とは、多様な子
どもたちが地域の学校
に通うことを保証する
ために、教育を変えて
いこうとするプロセス
であると考えている。

日吉津小学校では、
個に応じた学びの場



▲「合理的配慮」の一つの筆談マーク

よる学習を保障しなが
ら、全ての特別支援学
級在籍の児童が、可能
な限り、通常学級との
交流学習や、朝の会・
終わりの会、給食、掃
除等で、共に学校生活
を行っている。交流す
る学級の係や当番活動
を行っている児童もい
る。

村費で学習支援員を
配置することにより、
このような活動を行い、
達成感が持てるような
支援を行っている。



齊田光門 議員

建設工事に対する見直しを

村長 県の協力のもと発注・施工を行う

Q ①ひえづこども園保育室整備工事の発注方法は。

②一般競争入札の導入は。

③工事発注までに時間をかけて検討されたい。

A 村長
①工事規模に応じて分離発注及び一括発注を行う。保育室整備工事は繰越事業。10月供用開始のためできるだけ早急に着工したい。建築資材の高騰

や供給難で分離発注で生じる工種間調整を省くため、一括発注を行う。

②指名競争入札で行う。参加業者は格付けAで

県西部に本社を有する日吉津村に指名願いを提出した全て（11社）を選定する。一般競争入札と比較し、早期に業者が決定できる。

③新年度の保育室が十分確保できない状況のなか、保育室の増設は

早期の供用開始が必要。2月14日こども子育て会議を開催した。様々な意見を考慮しつつ工事を進める。

④村の建築工事の件数に対して、建築技師を

配置する必要性は低い。建設工事の専門性を確保すべき設計施工監理を委託し、県の建築部に協力を得ながら発注している。

村民個々の

防災対策を

村長 自治会単位で周知する

Q

①自治会単位で各世帯人数の把握を。

②地震発生時、集合場所の確認・行き方等の再確認を。

③最低限準備する防災備品の確認を。

④地震保険は高額なので一部助成を。

A

村長

①村内の各自治会で自主防災組織を立ち上げ、グループ単位で家庭状況を把握されている。

②各自自主防災組織でルールを定め周知をされている。村は避難場所等の広報にとめる。

③地震発生後、72時間は人命救助が優先される。救援物資はすぐに避難所に届く状況では

ない。最低3日間の食糧・水・薬等、非常用持出し品を個人で準備していただきたい。

④地震保険は個人の資産であり、助成制度は行わない。地震保険は確定申告の保険料控除となっている。



▲ひえづこども園保育室の増設



▲最低限の防災備品の準備を



江田加代 議員

学校給食費を無償に

村長 現在無償化は検討していない



▲4月12日から給食開始

Q 物価高が生活を直撃している今こそ、学校給食費を無償にできないか。

村長

A 学校給食法及び給食法施行令に基づき、「食材に関する経費は保護者負担とする」と定められている。また、経済的に支援が必要な家庭には、村が全額支援をしている。

Q 保護者負担を定めた学校給食法の施行は、半世紀以上も前のこと、経済的余裕があっても保護者の多忙化などで環境は様変わりしている。

A 給食費無償化に踏み出すべき時ではないか。

村長

A 日吉津の給食は自校調理で、「おいしい」と好評である。さらなる物価高騰となっても保護者負担を増やさないよう努める。

生活保護制度を広く知らせよ

村長 今後もしっかりやすく工夫をし、周知する

Q 生活保護を必要としている方の目にとまるポスターを。

村長

A ホームページに制度の概要、保護申請や相談について掲載している。また、相談される方にパンフレットを作成し、適時配布をしている。

A マイナ保険証で

Q どうなるか
村長 保険制度そのものは変わらない

Q 国民皆保険の基盤は健康保険証である。保険証の紛失や有効期限切れに対応できるのか。

A 国民皆保険の基盤は健康保険証である。保険証の紛失や有効期限切れに対応できるのか。

Q 役場業務への影響は。

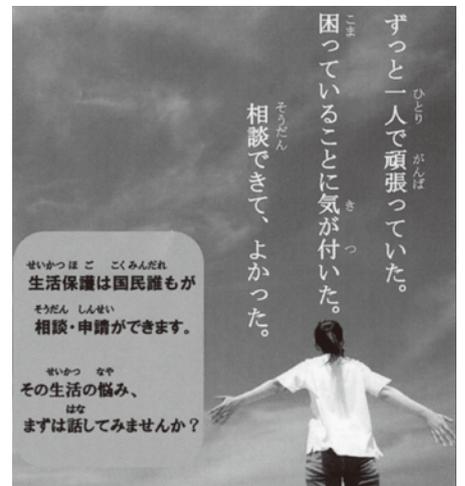
A 対応は本人や家族で行なっていたことによる。影響は、全体の業務量は軽減される。

Q 保険証の廃止期日が今年12月となっている、影響は。

A 村長 国保への加入や脱退の手続きは変わらないが、更新日がそれぞれ異なるので、その都度対応が必要になる。

Q マイナカードの申請は任意ではないのか。

A 村長 カード取得は任意だがコロナを経験し、日本のデジタル化が進んでいないことが大きな問題になった。制度改正への心配を払拭しながら、メリットもお伝えし進めていきたい。



▲全国の自治体で広がる生活保護ポスター



橋井満義 議員

旧うなばら荘の最終結末は 村長 第三者への譲渡を協議中である

Q 旧うなばら荘は(株)ヤードクリエーションが事業中止され、その後第三者に譲渡する事が決まった。しかし、当概物件の問い合わせ事業者も進展

がない。そこで村は第三者譲渡へ向けた事務協力の延長を西部広域に依頼された。その後ヤード社は事業開始期間を一年延長してほしい旨を、村の弁護士宛

に提出した。これらヤード社との借地権契約延長により土地賃貸料は減収になる。この状況をどうとらえているか。

A 村長

ヤード社が事業中止の申し出をした後、第三者譲渡の候補者と協議してきたが、結果が出ていない。借地権については、年間420万円として契約しているが、会社の決算報告書を見る限り、体力的に困難と判断している。現状では期間延長もやむを得ないと考えている。

村誌に代わる「ふるさと読本」は
教育長 令和7年度の完成予定

Q 村誌のダイジェスト版「ふるさと読本」は予算化してあるが、その後の進捗よく状況が見えないが、どうか。

A 教育長

「ふるさと読本」については、今年度完成の計画であった。しかし制作業務が遅れており、令和7年度完成するよう計画を見直したものである。業務としては印刷まで含めた方がよいと考え、次



▲王子製紙への支援を

年度にまたいだ契約として行う。

王子製紙への支援を示す
村長 条例にもとづき行う

Q 王子製紙米子工場のETAノールを主とするプラント開設の計画がある。この件は昨年からあったもので、村の支援が遅いと指摘してきた。昨

A 村長

年末の12月22日に鳥取県が9億円の補助金、米子市が雇用支援、日吉津村が3年間の固定資産税の免除を予定と報道された。この村の方向をいつ、誰が決めたのか。

令和2年に固定資産税の減免条例を作っている、それに基づいて支援を行っていく。



▲旧うなばら荘の現在の姿

今こそ考えよう、どんな公園に

海浜エリアの活性化

村民のいこいの場、海浜運動公園

日吉津海岸の松林は、先人が防風林として育てた貴重な財産です。海浜運動公園は村民のいこいの場として親しまれてきました。

昭和63年にテニスコート、ゲートボール場、多目的広場。平成10年にキャンプ場。そして平成12年にバンガロー。平成13年に芝生広場を整備しました。

この間、平成元年には、村制100周年記念事業として堀内孝雄さんを中心とした野外コンサートが開催されたり、平成13年からは「24時間リレーマラソン」のメイン会場となるなど、賑わいのあるエリアとなってきました。

海浜運動公園の利用者減

テニスコートやゲートボール場は老朽化した上に利用者のニーズが変化し、今ではほとんど利用者がありません。キャンプ場やバンガローの利用者は引き続きありますが、コロナ禍の影響で減少しました。一昨年うなばら荘は閉館となりました。

そこで、村では、海浜運動公園を含む海浜エリアの活性化を模索しています。

海浜エリアの活性化計画の策定

村では、令和3年度、利用者など7名の方による「海浜エリア活性化検討委員会」を設置して意見を聞き、職員のプロジェクトチームの意見と突き合わせながら、「海浜エリア活性化計画」を策定しました。

公園に民間導入を模索

令和4年度、指定管理する意向のある事業者の掘り起こしのため「サウンディング型市場調査」(*)を行いました。

利用されなくなったテニスコートやゲートボール場は、オートキャンプ場やドッグランなどへリニューアルしてはと、民間事業者から提案を受けました。子育て家庭からは、遊具を備えた公園にしてほしいという声もあります。



今年の調査研究に多額のコンサル料

そして今年度、調査を継続するとともに、民間事業者に公園の運営・経営を任せる「指定管理者制度」や「パークPFI」(*)という手法で海浜運動公園を民営化していくことなどを検討するとしています。

その検討のためのコンサル料1,650万円は多額過ぎるという意見もありましたが、民間導入に期待し予算化を賛成多数で可決しました。

◆村民の皆さまはどのような公園を望みますか？ 今後の検討にご注目ください。

*サウンディング型市場調査 企画段階から、行政と民間事業者が協議しながら、事業の市場性や方向性を検討する調査手法。

*パークPFI 公園で施設（レストランなど）を運営する事業者に、一定の条件緩和を行うことで、公園の整備や維持管理を任せる手法。

ブスのみなさん

スパークルバルブス（輝く球根）は、村のイベントに参加、ボランティア、自主的なイベントの開催など、楽しんで活動をしているサークルです。

令和4年度には、とっとりSDGsアワードの小中学校の部でグランプリを受賞されました。現在は21名で活動されています。

サークルに参加したきっかけは

塗信さん

最初友達ちと4人で巻き寿し作り体験に参加し、その時にヴィンステの職員の方にサークル活動をやらなかと誘われ参加しました。そこから友達を誘って増やしていきました。

サークル活動で感じたことは

全員

楽しいです。



やまもとここみ
山本心海さん

山本さん

自分たちの好きなことをしながら、村に貢献できることがうれしです。

石和田さん

村の良さを再発見できたかなと思います。村と関わりをもつなかで人の温かさにふれて、こころいいところだと感じました。

サークル活動で印象に残ったことは

塗信さん

「縁日」をしたことです。子どもたちの笑顔とか、楽しそうな声を聞いて、自分も楽しくなりました。

山本さん

eスポーツ大会を開催したことです。村のみなさんにも楽しんでもらえたし、自分も楽しかったです。



いしわだたろう
石和田太郎さん

石和田さん

地元食材を提供してもらってピザを作ったことです。



山本さん

竹中さん

竹中さん

一年生の時にふれあいフェスタでフリーマーケットをしたことです。使わなくなったものを集めて売ったんですが、捨てるのではなく再利用してもらったことが、SDGsにつながるものが分かったし、村のみなさんに喜んでもらえてうれしかったです。

日吉津村のいいところは、そうでないところは

竹中さん

みんな優しいし、人口が増えているところ。

山本さん

4年前、岡山県から引っ越してきたんですが、村内に何でもあるところ。あと、お母さんが役場の対応が良かったと言っていました。



▲「海とeスポーツ」に参加

村民インタビュー

中学生サークル スパークルバル



▲チューリップのプランター洗い

将来も日吉津村とか鳥取県にかかわった仕事とかボランティアとかできればと思います。

石和田さん

将来やりたいことは

そうでないところは、工場の臭いがするところはちよつと。

山本さん

子ども教育に熱心なこととか、大人がイベントに熱心で協力してもらえるところです。

塗信さん



石和田さん

塗信さん

塗信さん

大人になっても、今の同級生と集まれる場所がほしいです。

山本さん

絵が好きなので、好きなこととか得意なことを仕事にしたいです。

竹中さん

去年オーストラリアに研修に行つて、言葉が違っててもなんとかかなると感じたので、海外に留学してみたいです。

メンバーの勧誘は



ぬりのぶかいと 塗信快人さん

塗信さん

メンバーの弟や妹もいるので、増えてくると思います。

村や議会に意見・要望があれば

塗信さん

街灯をもっと増やしてほしい。



たけなかしおり 竹中志織さん

竹中さん

村や議会からも中学生サークルにかかわる機会を作つてほしい。

石和田さん

研修旅行に行かせてほしい。

これからもサークル活動を楽しんでください。

山本さん

事故しているところをよく見かけるので、注意看板を設置してほしい。



▲とっとりSDGsアワードグランプリ受賞

議会のうごき

王子製紙との育樹作業

とき 4月2日(火)
ところ 日野川土手桜堤



王子製紙米子工場と村議会・村役場が共同で肥料まき等の作業を行いました。桜堤は、平成5年、30本の植樹から始まり、毎年の手入れを経て、今では約160本の見事な桜に育ちました。この日も、村内外からたくさんの方がお花見に訪れておられました。

第31回県町村議会

広報コンクール
—優秀賞—



「議会ひえづ」が6年連続の優秀賞に輝きました。

村民インタビューや議会懇談会などを評価していただきました。

村民の皆さんに、分かりやすい紙面になるようにがんばってまいります。ご意見・ご感想をお寄せください。



村議会モニター

活動開始

令和6年度から、鳥取県内では初となる「村議会モニター」をスタートしました。

年4回程度、議員を交えた意見交換会を開催する予定です。村議会の活動に対し、村民目線のご意見をいただけると期待しています。

日曜議会の開催

すでに、新聞やテレビで報道されていますが、県内初となる「日曜議会」を6月に開催します。

6月9日(日) 9時より各議員が30分の持ち時間で、一般質問を行います。詳しくは村のホームページに掲載する予定です。

編集後記

コロナによる行事自粛も収まり、令和5年度は、久しぶりに運動会や文化祭、球技大会など村の行事が再開され、活気が戻ってきました。村の人口も昨年2月には3600人を超えました。新しい力も活かして地域の力を高め、元気な村づくりを進めていきたいです。

日吉津村議会では、今年度から「議会モニター」「日曜議会」を取り入れます。いろいろなご意見をお寄せください。

— 石原 記 —

次回の定例会は
6月です



表紙 小学校入学の日

【議会広報広聴常任委員会

前田 昇・長谷川康弘

斉田 光門・石原 浩明

松田 悦郎

